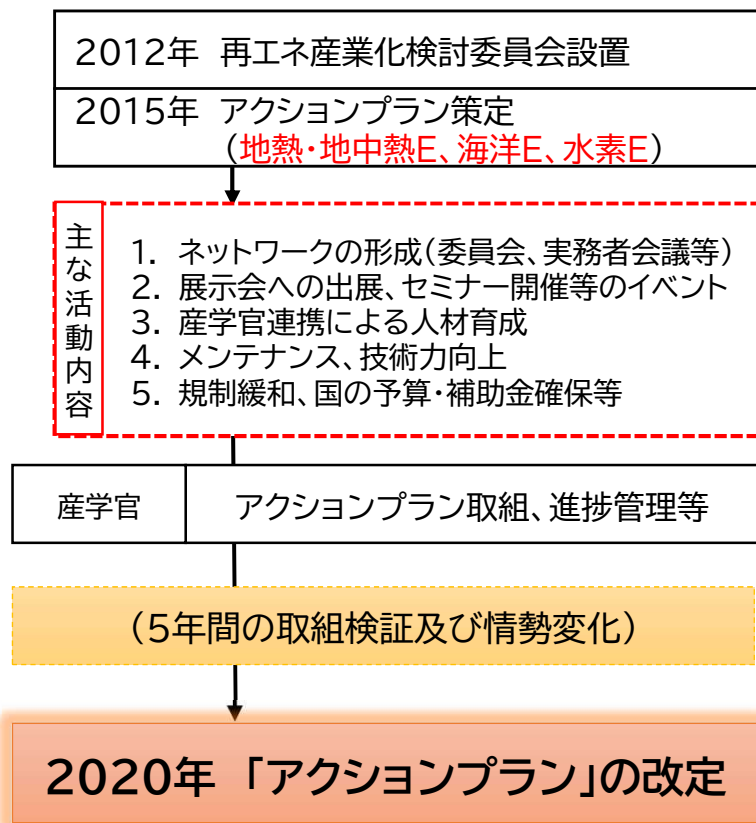


「再生可能エネルギーの産業化を目指すアクションプラン（九州モデル）」の改定について

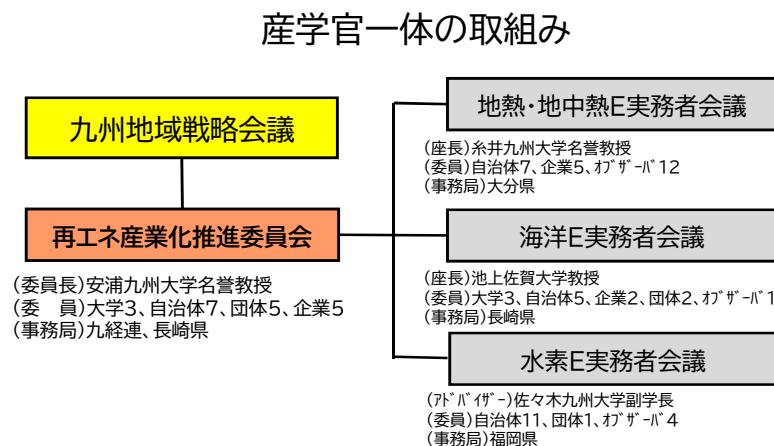
アクションプランの概要



改定の主な概要(新たな追加等)

- 地熱・地中熱**
- 地熱・温泉熱関連技術の向上
 - ・ バイナリー発電 **メンテナンス体制**の確立
 - ・ **湯けむり発電** 国内外での組成
 - ・ **地中熱利用** 適地マップの作成
 - 国内及び海外への展開
JICA事業等活用
- 海洋**
- ネットワークの形成
海洋エネルギー人材育成機関の活用
 - 商用化フィールドの形成
離島内、離島と本土間、送電インフラ、港湾施設、蓄エネ(大型蓄電池、水素製造)等の整備
- 水素**
- 産業化モデル構築
再エネ等の地域資源を活用した水素製造の利活拡大
 - 域内企業の参入促進
人材育成支援、研究開発支援、マッチング支援

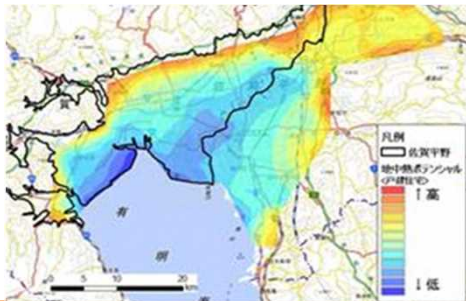
取組体制



KPI(2030年)

地熱・地中熱	プロジェクト組成件数 500件
海洋	実証事業数 洋上風力 / 潮流 / 海流 4件 / 8件 / 2件
	商用ファーム 8件 導入発電量 2.5GW
水素	水素利活用プロジェクト 40件 商用水素ステーション 90箇所

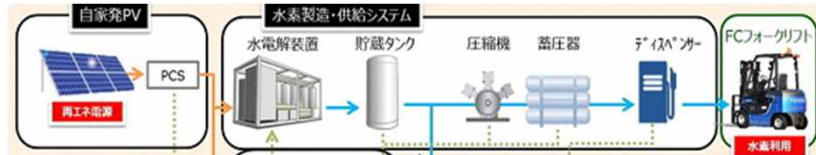
1 2021年度予算 : 再エネ産業化推進委員会の活動費用 50万円/年



佐賀平野の地中熱ポテンシャルマップの作成(佐賀県)



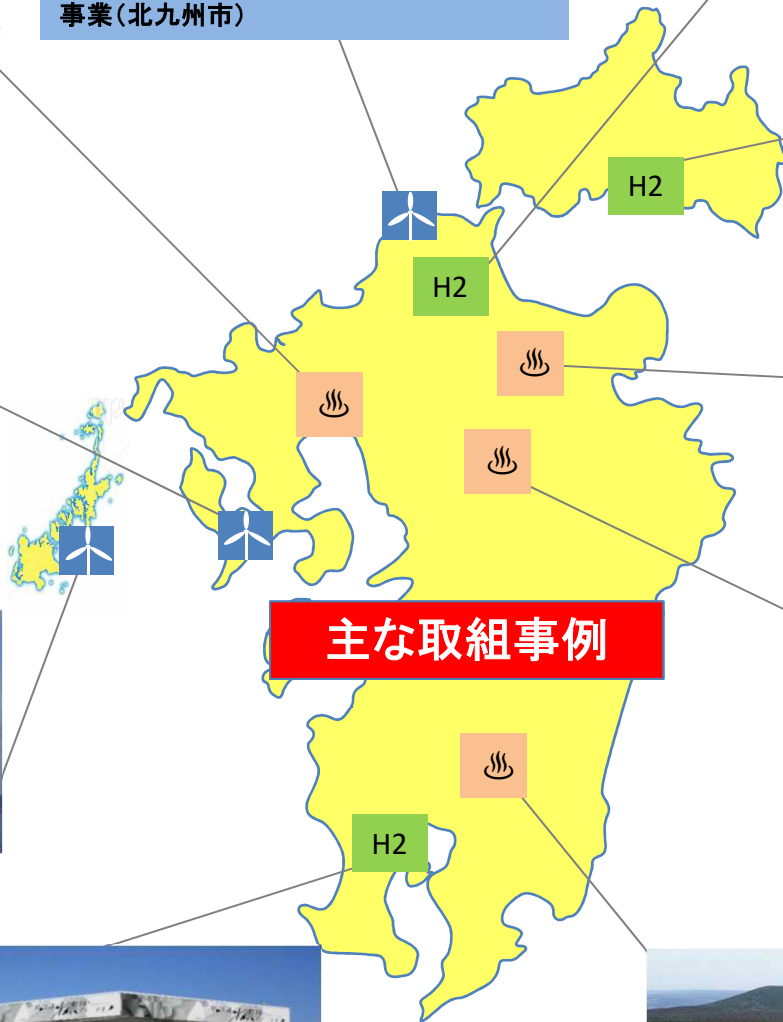
グリーンポートエネルギーひびきエネルギー事業(北九州市)



地産地消型再エネ水素エネルギーマネジメントシステムの導入(トヨタ自動車九州・九電テクノシステムズ・豊田通商・福岡県)



長崎海洋アカデミー(長崎海洋産業クラスター推進協議会)



主な取組事例



五島市沖における再エネ海域利用法に基づく促進区域の指定(長崎県)



苛性ソーダ由来の未利用水素を活用した地産地消・地域間連携モデルの構築((株)トクヤマ)



地熱を利用した次世代農業ハウスでパプリカ等の栽培(愛彩ファーム九重)



地域住民による地熱発電所及び温排水の農業利用(合同会社わいた会)

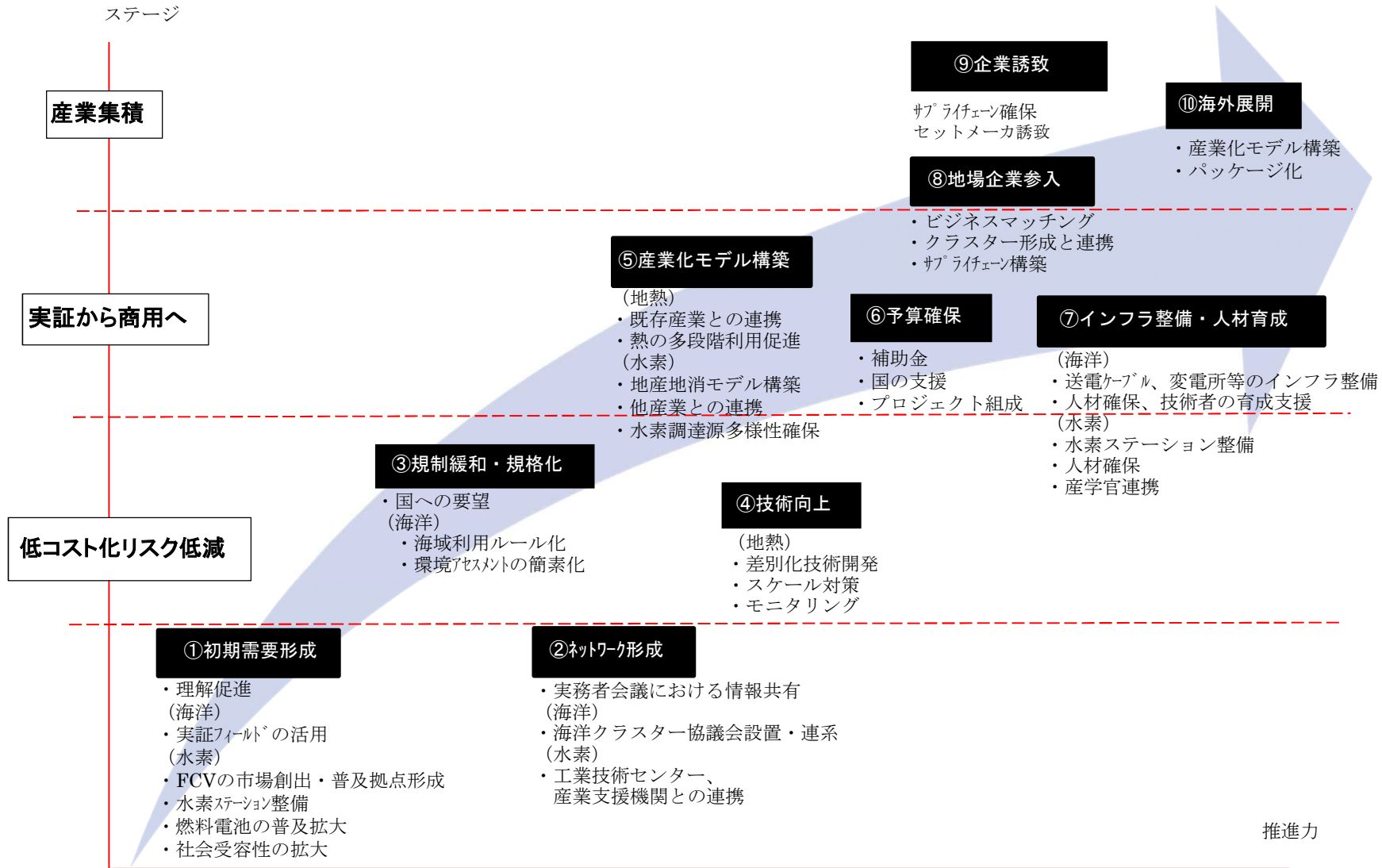
地元企業による水素ステーション整備の促進(かごしま水素ステーション(南国殖産(株)))



えびの地域における新規地熱開発(計画発電容量:4,800kW)(アストマックえびの地熱(株))

ロードマップ(イメージ)

再エネ関連産業拠点化



再エネ関連産業拠点化形成への重要取組項目(2015~2030年)